

平成28年度道徳年間指導計画

第2学年

No. 1

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師と心から信頼できる友だちをもとうとの連携、地域人材の活用）
1	4/13	強い意志	A-(4)	作文		1	2年生になつての希望や抱負を作文し強い意志を培い、目標の実現へと努力させる。	中学生生活2年目の節目に目標を持って生活する意識を持たせる。	学級開き	
2	4/20	集団生活の向上	C-(15)	夕焼け	きみがいはらばんひかるとき	1	人生における具体的な目標の持ち方を考え、目標に向かって着実に歩いていこうとする意欲を育てる。	新しいクラスをよりよい集団にしていこうとする意識を育てる。	学級組織作り 家庭訪問	
3	4/27	自主・自立	A-(1)	簡単に得られる快楽	とっておきの道徳授業	1	自らが物事の善悪を判断することや、主体性をもって行動することの大切さに気づかせる。	誠実に生きることの大切さと、責任ある行動を取ろうとする心と態度を養う。	実力テスト	
4	5/11	家族愛	C-(14)	母への小遣い	とっておきの道徳授業	1	親に反発を感じ始める生徒に、親は子どものことを心配してくれていると気づかせ、親に感謝する気持ちを持たせる。	家族の思いやりや愛情を大切にしながら家族の一員としての自覚を持ち、互いに労り合う態度を養う。	地域に学ぶトライやる・ウィーク	
5	5/18	個性の伸長	A-(3)	自分を見つめ個性を伸ばす	私たちの道徳	1	「トライやる・ウィーク」に向けて、自分自身の良さを認識し、それをどう伸ばしていくのかを考えさせたい。	誰しもが、自分自身こうありたいという思いを持っている。その思いを胸に、様々なことを努力させたい。	地域に学ぶトライやる・ウィーク	
6	6/1	真実	A-(5)	山田先生の失敗	とっておきの道徳授業	1	お詫びをするか否かで山田先生のとった行動を考えることを通して、人生の岐路で正しい道を選択することの大切さを感じさせる。	人間としての自覚と誇りを持ち、自分で考え、決断し、主体的に生きる心と態度を養う。		
7	6/8	社会の秩序と規律	C-(12)	33人	伊丹市中学校共有教材	1	集団生活を営む上で、必要とされる約束や決まりを重んじ、自他への配慮と深い思いやりを大切に、お互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方を身につける。	自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任について意識を持たせる。		
8	6/15	正義・公正・公平	C-(11)	I HAVE A DREAM	自作資料	1	いじめなどの差別でも、暴力を使わずにそれと闘うことができるのだという意識を育てる。	誰にでも公正、公平な態度で臨む心を育てる。	いじめ防止強化週間	
9	6/29	人間の弱さ醜さの克服	D-(22)	人間の強さや気高さを信じ生きる	私たちの道徳	1	人間には弱さや醜さもあるが、それを乗り越え、誇りをもって、よりよい生き方をしようとする意欲を高める。	人間の弱さを知り、人間としてより良く生きようとする自分を大切にさせたい。	期末テスト	
10	7/6	正義	C-(11)	子どもの人権	講演	1	正義を重んじ、誰に対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会実現を目指す心を育てる。	法的な目線から、どのような問題があるか、また、たいしたことないと思っていることでも、人を傷つけている事があることを様々な例から考える。		
11	7/13	友情・信頼	B-(8)	本当のライバルとは	とっておきの道徳授業	1	周りの友達の大切さになかなか気づかない生徒に、ライバルと親友の本当の意味を考えさせる。	真の友情には何が必要か考え、互いに高め合う大切さに気づかせる。	三者懇談会	
12	7/13	感謝	B-(6)	児童労働	朝日新聞	1	多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それに応える心を育てる。	普段当たり前のように思っていることがそうでないことに気づかせる。		
	8月			「心かがやく」			家に持ち帰って家族と一緒に読むことにより、兵庫ゆかりの人物や地域の特性などについて考えさせる。		夏休み	

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師との 連携、地域人材の活用）
13	9/7	人間愛・思いやり	B-(6)	ハリネズミと金貨	あすを生きる	1	他の人々との関わりの中で温かい人間愛の精神を深め、感謝と思いやりの心を持つようにする。	自他共にかけがえのない人間であることを自覚し、その上で感謝の心を持って人に接することができるような態度を育てる。	2学期学級開き 体育大会練習	
14	9/14	国際理解	C-(18)	義足をアフガニスタンへ	あすを生きる	1	世界の中の日本人としての自覚を持ち、お互いに同じ人間同士として助け合おうという気持ちをはぐくむ。	国際社会に生きる日本人として国際親善の心を育てる。		
15	9/21	礼儀の心	B-(7)	「いき」な江戸しぐさ	あすを生きる	1	挨拶などの礼儀がなぜ必要か考え、時と場に応じた行動がとれるようにし、けじめのついた生活をさせる。	礼儀の意義を理解し、互いの人格を尊重し、場に応じた適切な行動がとれるようにする。		
16	9/28	友情・信頼	B-(8)	ライバル	明日を生きる	1	啓介が何に苦しんでいるのかを知ることにより、康夫との友人関係について考え、心から信頼できる友だちをもととする心情を育てる。	人間の心の弱さや醜さを認め、友達同士でそれを乗り越え、真の友情を育てる態度を養う。		
17	10/5	法やきまり	C-(10)	怒りの救助活動	道標	1	人間として必要とされるマナーを守り、協力し合って集団生活を高める努力をし、公德心を持って社会の秩序と規律を高める態度を養う。	集団の一員としてその役割を果たすとはどのようなことかを考え、よりよい社会の実現に努力する態度を養う。	文化発表会 合唱練習	
18	10/19	正義	C-(10)	ガンジー	あすを生きる	1	当時のインド人のおかれている状況がどのようなものかを知り、ガンジーの気持ちと行動が差別や偏見のない社会の実現を支えたことを知る。	正義を重んじ、差別や偏見のない社会の実現を目指して努力しようとする態度を養う。		
19	10/26	愛校心	C-(15)	生徒会活動について	道標	1	自分勝手な考えや行動を自制し、協力してよりよい校風を樹立する態度を養う。	学校生活の充実向上のためには生徒会活動の活発化が必要であり、自ら役員となったり、積極敵に協力することの大切さを理解させる。		
20	11/2	崇高な人生	D-(22)	償い	心つないで	1	弱さや醜さを克服し、人間としての誇りや深い人間愛を追求する姿勢を育てる。	人間としてよりよく生きることの気高さを認識させる。	いじめ防止強化週間	
21	11/9	寛容・謙虚	B-(9)	絵の悲しみ	道標	1	素直な心は他の人の心を変えていくものであることに気づかせ、広い心で接することで人間として成長し、自分を向上させようとする心情を育てる。	相手の立場や考えを理解し人によりそれぞれ置かれた立場を尊重していく謙虚な心を養う。	いじめ防止強化週間	
22	11/16	差別のない社会の実現	C-(15)	いじめの正体	インターネット	1	「いじめはよくないことだ」と頭ではわかっている。何がいじめなのか、どうしていけないのか。絶対にやってはいけないことだと気づかせる。	差別のないクラス、仲間の大切さを考えさせる。		
23	11/30	正義・公正・公平	C-(11)	松本くんへの手紙	道標	1	正義を重んじるとともに、力をあわせて積極的によりよい集団をつくり出す態度を養う。	いじめはいじめられる側に問題があるとするのは間違いであり、いじめる側にこそ問題がある。無関心はいじめの加担者でしかないことを考えさせたい。	校外学習	
24	12/7	節度ある生活	A-(2)	わたしの反抗期	あすを生きる	1	主人公の態度を参考にして、自分たちの日常生活を振り返る。	整理整頓を心がける心情を育て、節度を守り、進んでよりよい生活習慣を身につける態度を養う。		

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師との 連携、地域人材の活用）
25	12/14	男女理解・異性観	B-(8)	結婚相手とパソコン講師	とっておきの道徳授業	1	自分が持っているジェンダー・バイアスに気づいていない生徒に4コマ漫画を通して分かりやすく気づかせる。	異性の立場や考えを思いやる大切さを自覚し互いに高め合う態度を養う。	新学期の心構え	
26	1/11	震災からの教訓 強さ・気高さ・生きる喜び	D-(22)	語りかける目	心かがやく	1	死を目の前にした母の心、母の命を助けることができず遺骨を見守る少女心の深さを感じさせることにより命の重みを受け止めさせる。	命の重みを感じさせることにより、「生きる」ということを考えさせる。	阪神大震災追悼 防災訓練	
27	1/18	郷土愛	C-(16)	ウラー！タイショウ！ 高田屋嘉兵衛物語	心かがやく	1	地域社会の一員としての自覚をもって強度を愛し、強度の発展に努めようと数態度を育てる。	先人の偉業を知り、郷土に対する認識を深めるとともに郷土を愛しその発展につとめようとする態度を育てる。		
28	1/25	節度・節制	A-(9)	携帯電話の恐怖	とっておきの道徳授業	1	爆発的な携帯電話の広がりの中、その危険性を知らない生徒に節度ある使用の大切さを伝える。	望ましい生活習慣とは何かを考え、節度と調和のある生活を大切にする。		
30	2/1	愛国心	C-(17)	日本ってこんな国	朝日新聞	1	いろいろな国の異なる文化と接していくためには、まず日本の文化を身につけておくことが重要である。自分にとっての日本とは何かを再認識させる。	世界の人々と尊重し合い、差別や偏見のない社会の実現に努力する大切さを自覚する。		
31	2/8	生きているということ	D-(19)	心の匠講演	心の匠	1	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重し自尊感情を育てる。	自分の成長が多くの人の関わりの中で作られたものであることをわかる。		
32	2/15	自然の愛護・豊かな心・畏敬の念	D-(20) D-(21)	夜は人間以外のものの時間	明日をひらく	1	自然には人間の力を超えた神秘的で偉大な力がある。こうした自然への畏敬の念を深め、自然の素晴らしさを素直に受け入れようとする心情を育てる。	人間の力を超えた、自然を純粹に愛し、自然とともに生きようとする姿勢を育てる。	卒業式 進路指導	
33	3/1	勤労・奉仕	C-(13)	地図のある手紙	あすを生きる	1	無医村に赴任した作者の気持ちを考え、作者の生き方・考え方を理解し、社会の中での自分の役割について考える。	自己の使命を自覚して社会への奉仕と公共の福祉に努める態度を養う。	卒業式	
34	3/8	家族愛	C-(14)	きいちゃん	あすを生きる	1	「生んでくれてありがとう」という気持ちを持ち、家族だからこそ大切にしていきたいものとは何かを考え、感謝の気持ちを持つ。	自分がかげがえのない子として深い愛情で育てられたことに気づき、家族の一員としての自覚を養う。		
35	3/15	感謝の心	B-(6)	夜のくだもの屋	伊丹市中学校共有教材	1	私たちは人との関わりの中で支えられ、助けられて生きている事を確認し、感謝と思いやりの心で人と接しようとする心情を育む。	多くの人たちの善意や支えによって日々の自分たちの生活があることに感謝し応えようとする態度を養う。		

35	3/19	公德心	4-(2)	つながりをもち住みよい社会に	私たちの 道徳	1	人間として必要とされるマナーは守り、公德心を持って社会の秩序と規律を高める態度を養う。	他人の立場に立って物事を考え、行動することの大切さやマナーを守ることの大切さを学ばせる。	修了式 校外生活指導	
----	------	-----	-------	----------------	------------	---	---	--	---------------	--

34	3/12	生命の尊重	3-(1)	たったひとつの命だから	伊丹市中 学校共有 教材	1	「たったひとつの命だから」に続く言葉を深く考えることによって、かけがえない命を実感し、自他の生命を尊重しようとする道徳的心情を育てる。	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を育む。		
----	------	-------	-------	-------------	--------------------	---	---	---	--	--